



薫陶

かほく市立 七塚小学校
校長 宗廣 進一

学校教育目標：自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成
七塚小学校 HP <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~nanate/>

暴風雪…ご理解・ご協力をありがとうございました。



今年の冬将軍はなかなかパワーがあり、3学期の登校初日は、これまで私が経験したことのないような激しい風雪に見舞われました。これから人間社会が解決していかなければならない課題としてSDGs(エスディージーズ)という言葉をよく聞くようになり、17の目標が掲げられており、その一つに「気候変動に具体的な対策を」がありますが、このことを身近に感じる一件でした。

前夜の予報を受けて、保護者の皆様には当日朝に集団下校のメールを送信しました。学校ではこのメールを受けた保護者からの、帰宅先変更や迎えによる集団下校不参加等の電話連絡を受け、その情報を集団登校班に反映させるための作業に慌ただしく負われました。しかし、午後にはいよいよ暴風雪は強まり、一歩外に出ると体が吹き飛ばされそうになる強風を相手に、集団下校を中止し保護者の方々に学校まで迎えに来ていただく判断をし、かほく市メールでご連絡しました。

その後、18時前には全児童が無事に帰宅を完了した次第です。
保護者の方々のご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます。



さて、この件を振り返り、今後に向けていろいろと考えさせられました。

まず、より円滑に保護者や地域の方々と連携しながら安全を確保するためには、学校はできる限り高い精度で、天気とそれに伴う危険度を予測する力を高める必要があるということです。前日の予報では風速16~17m/秒になるだろうと伝えられていました。しかしこれに加えて、七塚小学校は海沿いに立地する学校であることを考えれば、学校近辺の風はさらに強いことを予想すべきでした。また、古い空き家の屋根瓦が飛ばされていることも連絡がありました。

状況予測の能力を高めることで、保護者の皆様には前日のうちに集団下校や引き渡しを視野に入れた連絡ができたのではないかと考えています。

また、当日午前中は職員が慌ただしく集団下校の準備を行いました。今後はこれをより円滑に行えるように仕組みを改善しました。

危機管理の「さしすせそ」ということがよく言われます。

「さ」…最悪を想定して 「し」…慎重に 「す」…すばやく 「せ」…誠実に 「そ」…組織的に
今回のことは、これらの能力をさらに高めるための良い経験となりました。今回のことを教訓として、今後の対応に生かしていきますので、保護者・地域の方々のご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。